

道徳科研究部報

令和5年10月6日
浜松市教育研究会道徳科研究部
第3回研修会の御案内

校庭の木々の葉が色づきはじめ、秋の訪れを感じます。
皆様方には、第2回研修会に参加していただき、ありがとうございました。今回の道徳部報では、講話の内容と第3回研修会の案内をさせていただきます。



～第2回道徳科研究部研修会～

講話 令和の時代に求められる道徳教育と道徳科の指導

一子供のしなやかさを育む授業をつくるために一

東京学芸大学 永田繁雄先生

①「子供たちの発想を広げる道徳授業」の心構え

- ・子供の心の力を信じる。（よりよくなりたいという思いをもっている。）
- ・子供との共有目線を重視する。（褒めるより認める。）
- ・物議をかもし授業をおそれない。（子供にとってのメリットを感じるとき思い切り挑む。）

②学習指導要領の力点を4つの角度から見て考える

- ・道徳科の目標・・・児童生徒が「考え、議論する道徳」への授業の一層の転換を求めた。
- ・道徳の内容項目・・・児童生徒らが主体的に学ぶ内容であることをより鮮明にした。
- ・道徳科の指導の在り方・方法・・・アクティブな授業への一層の「質的改善」を求めた。
- ・教科書を中心教材とした計画的な活用・・・多彩な教材にも関心を向けて生かし合う。

③子供の主体性を引き出す、教師の「伴走者」としての役割

- ・教師など、周囲の人が「伴走者」に徹する。（言いたいことが言える雰囲気づくり）
- ・子供に対する教師の「関わりポジション」の意識。（個別最適な学び）

④テーマ追求型授業を軸にする

- ・子供が「自分事」として「納得解」を追求する授業。
- ・子供の問題意識を多様に発想する。



⑤複数の視点での「教材の吟味」をもとに授業を構想する

- ◇「分析」から「吟味」へと発想を変えて、教材の見方そのものを柔軟にする。
 - ・時系列的な教材吟味
 - ・構造的視点に立つ教材の吟味
 - ・子供の視点に立つ教材の吟味

⑥道徳科における指導方法の工夫（7つの引き出しの生かし方）

- ◇7つの引き出しとは、教材提示、発問、話し合い、書く活動、表現活動、板書、説話
- ・7つの引き出しを開けるときには、次のようなことに気を付ける。
 - 「どんな工夫ができそうか」引き出しの中身を生かす可能性を多様に考える。
 - 「この授業ではどんな工夫に絞るか」多くの引き出しの中身から選り抜いて生かす。

第3回 道徳科研修会について

日 時 令和5年 11月 8日（水）14：00～

- 内 容
- 1ブロック 花川小学校 神谷 寛子先生
3年 主題名「かくさず正直に」（A 正直、誠実）
教材名「まどガラスと魚」
 - 2ブロック 笠井中学校 内山 結女美先生
3年 主題名「なぜ規則を守るのか」（C 遵法精神、公德心）
教材名「二通の手紙」
 - 3ブロック 浜名中学校 大桑 聖矢先生
2年 主題名「夢に向かって」（A 希望と勇気、克己と強い意志）
教材名「夢の力」
 - 4ブロック 引佐南部中学校 黒柳 奈那先生
3年 主題名「他者と関わって生きていくとは」（B 相互理解、寛容）
教材名「ソーシャル・ビューー 一見えない人と楽しむ美術鑑賞一」



※ 詳細は、後日ブロック長から各校道徳主任に連絡させていただきます。